

# ともに生きる

No.26

平成 25 年 9 月 発行



## ご挨拶

後援会長

ふじ  
藤

わら  
原

かおり

毎日暑い日が続きますが、後援会の皆さまにおかれましては日頃のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年度の後援会長に就任致しました事をご報告申し上げます。至らぬ点が多々あると思いますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年4月より校名も新たに神戸医療福祉大学に変わり、4月12日には地域の来賓の方にもご来学いただき姫路キャンパス・大阪天王寺キャンパス、グループ校の日本経済大学神戸三宮キャンパス合同による入学式が盛大裡に挙行されました。

神戸三宮サテライトキャンパスではアンチエイジングおよび体力増進、熱中症予防に関する連続講座が開催され、姫路キャンパスではキャンプも実施され地域連携がさらに深まっています。

学生の皆様には、授業にクラブ活動にまた、校外学習にと充実した学生生活を送っていただきたいと思えます。クラブ活動では、硬式野球部、軟式野球部のメンバーが個人連盟表彰を受賞、柔道部（女子）の関西大会、近畿大会出場など、熱心に取り組み、優秀な成績をおさめられています。

6月には姫友戦が行われ、男女バスケットボール、女子バレーボール競技に出場し他大学とのスポーツ交流も行われています。

ボランティア活動（ボランティア活動支援センター）では、こどもから高齢者、障がい者に関わるものや震災被災地でのイベントなど幅広く参加され地域の方々と交流を深めております。今後の活動が更に広がることと思えます。

秋には播磨祭もあり、実行委員会の皆様や多くの学生が多彩な企画を練っておられる事と思えます。是非多くの皆さまにお越し頂きたいと思えます。

最後になりましたが、神戸医療福祉大学を選んで良かったと実感し、沢山の思い出を残して頂きますように微力ではございますが、教職員の方々や後援会会員の方々と共に取り組んで参りたいと思えます。

神戸医療福祉大学の更なる発展を願い簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。

## 目次

●ご挨拶（後援会長）	1
●後援会の皆様へ（学長挨拶）	2
●稔りの秋をさわやかに（学部長挨拶） ●学生名簿を見て	3
●社会福祉士国家試験の受験対策について ●精神保健福祉士国家試験ってどんなもの？	4
●キャリアサポートセンターから ●ソーシャルワーク（社会福祉相談援助）実習から	5
●介護福祉実習で育む一専門性と人間力 ●百聞は一見に如かず ●「こども福祉コース」における保育実習	6
●“ROSE”プログラム ●大阪キャンパスにおけるキャリアサポートセンターの活動について	7
●福崎町での親子運動教室の取り組み ●神戸三宮サテライトキャンパス公開講座	8～9
●平成 25 年度前期クラブ活動概要報告	9
●学友会活動報告（姫路キャンパス）・（大阪天王寺キャンパス）	10～11
●姫友戦 ●学園祭のお知らせ ●後期教育懇談会 ●学年暦	12



学 長

つ づき あすか  
都 築 明寿香

## 後援会の皆様へ

後援会の皆様におかれましては、日頃から本学に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本学は、今年4月に校名を神戸医療福祉大学と改め、創設者が示されている次代を創造する青年の「個性をのばし、自信をつけさせて世界に送り出したい」との建学の精神をいっそう実現すべく、新しい大きな歩みをはじめているところです。神戸三宮サテライトキャンパスではことしすでに3期約20日間にわたる公開講座を開催し、兵庫のみならず大阪、奈良、京都等に住まわれている社会人の方への生涯学習のお手伝いをしていますし、グループ関連校である日本経済大学神戸三宮校と単位互換協定を結び、本学の学生が三宮キャンパスでの授業を受講し始めています。また、大阪天王寺キャンパスでは開設4年目を迎え、卒業予定者が真剣に就職活動に取り組んでいます。

いま、学生や教職員の間で大学の名称を「こう(神)ふく(福)大学」と通称することが流行してきています。「福祉」は幸福のために、とは当然のことですが、自分たちも「こうふくになる」「こうふくを築く」との確かな思いがこめられてきているようなので、とても微笑ましく嬉しく思っています。その証左として、大学のシンボルキャラクターを募集したところ、四葉のクローバーで「こうふく」「ハッピー」を表徴する学生が多くいました。これは、「こうふく」を大切にしたい、「こうふく」をつかもうとの思いが学生の中に広く認められているのだと思われまます。

こうふく大学・本学で学生が大きく青春の一步を踏み出し、努力を稔らせていくために私たち教職員は全力で創意工夫し、いっそう支援していきたいと思ひます。はじめに述べました建学の精神も「個性をのばす」ことを礎にしていますが、この「個性」はその学生が福祉の専門性を身に付け、本来もつ個性を存分に発揮することです。そのためにも専門教育の学修と課外活動、そして教職員や友人たちとの交流がとても大切なのはいうまでもありません。

どうぞ、ご子弟の一人ひとりが胸を張って活躍されてまいりますように、教職員も頑張りますので、ご家庭におかれても、ご理解とご支援を引き続き頂戴できますようお願いし、ご挨拶といたします。





## 稔りの秋をさわやかに

学部長

教授 やまにし たつお  
山 西 辰 雄

暑さが続いています、皆様にはお変わりございませんか。お伺い申し上げます。

大学の夏休み期間について、義務教育諸学校と大幅に異なること、また諸外国とも異なることについて、質問を受けることがあります。たとえば、9月に入りますと、どこの小・中学校、高等学校でも新学期が始まっていますし、たとえば、韓国や中国の多くでも同様です。なぜ、日本の本学等が9月下旬始まりなのでしょう。

この疑問に答える一つのヒントは、1973年頃からでしょうか、大学の学暦（年間予定表）があちこちで変化しました。それまでは、今でもそういう大学があるのですが、夏休み期間を7月中旬～8月末を標準とし、9月に入ってから前期授業の残りと前期試験を実施する。そしてその後後期授業を始める方式です。実は、こうしますと、学生は夏休み明けに夏休みボケで前期試験に突入することになります。「大学紛争」という当時の社会問題を解消した諸大学がむしろ学生のためには「前期試験を受けてから夏休み」を設定したほうが良いと、おそらくそのように考える大学が増えていった経緯があるのです。夏休みは7月末もしくは8月上旬に始められるようになりました。この方法が採用されて約40年を経過します。

学生諸君はうまくいきますと、9月中旬に「秋」の風情を経験し、下旬にキャンパスに戻ることであります。私たち教職員は学生諸君の夏休み中にしておかななくてはならないことが多く、夏休みのないままですが、学生諸君がいよいよ通学する際には、学びの秋、成長の秋が稔り多いものとなるようにキャンパスにいて願っているところです。



## 学生名簿を見て…

大阪天王寺キャンパス長

教授 ひろいまさ と  
拾 井 雅 人

「ずいぶん、アルファベットが多くなったなあ～」3年前の1期生の名簿は上から下までずらっと漢字が並んでいました。しかし、4期生の名簿には漢字の名前に交じってアルファベットの名前がかなり見られるようになりました。1期生は漢字圏である中国や韓国からの留学生ばかりでしたが、その後、ベトナムやネパールからの留学生が入学し、今年度はこれら非漢字圏出身の留学生が一段と増えました。大阪キャンパスでは、日本人学生も含め学生の多国籍化が年々進んでいると言えるでしょう。

それに伴って、大阪キャンパスでは、日本人学生と留学生が日本語で会話したり、母国語の異なる留学生どうしが日本語を介して意思疎通を図ったりする光景をよく目にするようになりました。これらは留学生の日本語力のブラッシュアップや、学生の異文化理解の促進に大きく貢献してくれるものと期待しています。

一方、国籍の多様化が進むと、学生の間さまざな組合せの2国間関係を生み出します。一般に、国と国との関係はそれぞれの歴史に起因する国民感情、その時々政治・経済状況などによって良くなったり悪くなったりし、時には学生間交流の支障になることもあります。大阪キャンパスでは昨年度、大阪キャンパスは2国間関係の良否に左右されることのない学びと交流の場であることを再確認し、それを文書化して学生に伝えました。

ご案内のとおり、経済がグローバル化するなか、極東以外のアジア諸国の経済成長が進む一方、漢字圏である極東諸国では2国間関係が複雑になりつつあります。これらは、学生の多国籍化を加速させる要因であると考えられます。大阪キャンパスでは今後も、多国籍化がもたらす光の部分と陰の部分の両方に注目しながら、キャンパス運営を行っていきたいと考えています。来年4月に新しい学生名簿を見るのが、今から楽しみです。





## 社会福祉士国家試験の受験対策について

社会福祉学科 介護福祉コース  
准教授 梅谷進康

後援会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は国家試験対策に関しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここでは来年の一月に実施される「第26回社会福祉士国家試験」について、本学の受験対策の概要を述べていきます。

今年度の受験対策の計画策定には、前回の国家試験の結果が大きくかかわっていました。その結果とは本学の新卒受験生の合格率が18.3%で、全国平均の18.8%とほぼ同じ数値であり、学生はよく頑張ったといえることです。なお、本学の社会福祉士国家試験の合格者数は、33人（新卒15人、既卒18人）でした。

この結果から、今年度の受験対策は昨年度のものを踏襲するとともに、学生がより自学自習に励めるための対策としました。対策の概要は次のようになります。

- ① 3年次10月からの受験対策講座の実施。
- ② 4年次4月から試験前までの、週に2～3日の受験対策講座の実施。
- ③ 教員参加の国家試験勉強会の実施による自己学習の支援。
- ④ 学内教員や受験予備校などが作成した問題による模擬試験の実施（合計6回程度）。
- ⑤ 模擬試験後の解答解説講座の実施。
- ⑥ 夏休みの宿題の提示。
- ⑦ 冬休み期間中の対策講座の実施。
- ⑧ 自習室の設置。

これらに加えて、真に合格をめざす学生が、受験に真剣に取り組むための教育を必要に応じて行っております。

最後に、社会福祉士国家試験の出題範囲は19科目と非常に広いため、合格には継続的に時間をかけて勉強することが必要となります。つまり、受験生には勉強習慣を身につけることが求められます。教員は勉強会などを通して自己学習の大切さを学生に指導しておりますが、保護者の皆様からも勉強に向けた励ましをご子息、ご息女にお願いいたします。



## 精神保健福祉士国家試験ってどんなもの？

社会福祉学科 福祉心理コース  
教授 山田州宏

問題 1 地域移行・地域定着支援に関する次の文章で、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 アウトリーチは効果が無い、とケネディ教書では指摘している。
- 2 アドヒアランス姿勢の醸成には、信頼関係が関わってくる。
- 3 クラブハウスモデルは、脱施設化の流れが関係している。
- 4 シュナイダーの1級症状が消えるまで、地域移行・地域定着支援は行わない。
- 5 グループホームは、訓練のための給付なので、地域移行・地域定着支援のための社会資源とはなり得ない。

こんな問題が全部で163問出ます。すらすら解けるように、授業とは別に、特別対策講座や模擬試験、個別対応等を実習終了後から本格的に行う予定です。是非応援よろしくお願い致します。ちなみに正解は2と3ですが、何故正しいのか、1、4、5は何故間違っているのか、機会がありましたらお聞きになって下さい。



## キャリアサポートセンターから

“輝いて生きる、はたらく、そして存在感を知る”

キャリアサポートセンター部長

教授 井 土 睦 雄

昨今の就職状況を見ますと非常に厳しい状況はありますが、本学学生の平成24年度の就職内定率は95.8%に達成しており、大変努力していることはうれしい限りです。しかしながら、年々、就職意欲が減退している傾向も否定できません。強い意志と研鑽努力を期待したいところです。

ところで、はたらくということの意義について少し考えたいと思います。「人間として生き、はたらく」こととはいかなるもののでしょうか。それは人ゆえの喜怒哀楽を伴う人間交流と向き合いながらも、現代社会から要求される仕事（働き働くということ）に適応し、人間としての存在を示しながら、生き、後世にバトンタッチする過程でしょうか。そうしますと本人がどのように自由になりたいとしても人間が創りだした社会から、完全に脱出することは不可能です。しかし、ロビンソンクルーソーのように離れ小島に行き、ひとりで生きていくといった尊さを否定するものではありませんし、自由に生き規律を守り共存できていれば問題はありません。日頃の学生をみておきますと、この自由の重みに耐え切れなくて、気楽さと、労働の義務感との間をゆらぎながら、将来を見つめ、思案しているような、そんなロビンソンクルーソーに似たところがあります。

さて、「キャリアサポート」として、学生の進路先をみつめ、それに向けた開拓支援を行っていきますが、やはり、社会人としての思いのある暮らしを実現するまで、しっかりと立ち向かう学生をぜひ育てたいと考えます。そこで学生に三つのキーワードを贈ります。それは、3Cです。「チャレンジせよ・チェンジせよ・チャンスをつかめ」です。1年次のキャリア演習では、将来像を受け止めることの大切さは感じているものの具体的に自分がそのための活動ができていないことが課題となっていました。その課題解決のためには、この3Cの実現が必要になります。

まず勇気を出して「チャレンジせよ」です。次に能力・適性を磨いて「チェンジせよ」です。そして社会が求めている人材として出会い、はたらく「チャンスをつかめ」です。

我田引水かも知れませんが、一獲千金の夢をみて宝くじ売り場に群がる人間は、「もっと人生を豊かに」といつもチャンスをつかもうとしています。その貪欲さは人間そのものです。しかし就職活動は能力・適性を発揮し、相手の方に認められるまで、自らの強い意志と努力を示していく過程を経てはじめてチャンスがやってきます。その取り組み力をつけ、チャンスに出会うのは学生です。そしてその過程に向き合った学生こそ、生きている価値を本当に実感できる学生だと思いますし、達成した自身の喜びは自信となり、社会を信頼して生きていく上での第1歩につながります。その第1歩は多くの人に存在価値を認められることになるでしょう。

しかしながら、その過程は必ずしも平坦な道ではありません。その道は学生の汗と時には涙で地面が濡れていることもありましょう。また努力することの辛さに耐えられないこともあるでしょう。しかし、希望を実現しようとする生きざまこそ、“輝いて生きる、はたらく、そして存在感を知る”大切な過程です。そこには学生みなさんの生きる意味が宝石のように輝いています。

どうか、みなさま方の応援の中で、自律し、そして真に自立できる学生へのご指導 부탁드립니다ようお願いいたします。

## ソーシャルワーク（社会福祉相談援助）実習から

本学学生が目指している社会福祉士は、乳幼児、児童、成人からお年寄りの方々を対象に、地域全般にわたり広く、育児、教育、障がい、就労、住環境、医療保健等々、多岐にわたる相談援助の仕事を行っています。それだけに地域社会の状況や生活の困難性を把握する力がとても重要となります。

本学では、2年生ではその基礎と体験学習を展開し、3・4年生では、児童、障がい、高齢、地域、医療等への希望実習先別授業で分野の専門性を目指した授業を展開しております。

ところで、今夏を中心に、2・3年生は実際に自分自身の力で社会福祉現場を訪ね、「何を勉強し、そして自分の可能性とは何か」をまきにつかみ取る体験活動を行います。そして、3・4年生はいよいよ約1ヶ月の実習を行います。改めて自分自身の可能性を発見し自覚してくれると確信しています。

みなさまからのご支援をどうかよろしく申し上げます。





## 介護福祉実習で育む ー専門性と人間力ー

社会福祉学科 介護福祉コース

講師 荒木実代

介護福祉士になるために必要な介護福祉実習は、1年次より始まり450時間（約2ヶ月）を3段階に分けて実施されます。特別養護老人ホームや介護老人保健施設において、そこに暮らす利用者と直接かかわり、相手の立場で考える感性を養いながら介護の実践力と思考力を育むことを目的としています。

第3段階実習の終了後には、一人の利用者に視点をあてた個別支援計画の実践を通して学んだことをもとに、学生が中心となって発表会を開催しました。これから実習を控えている1・2年生も参加しました。発表した学生からは、「利用者になにかをしてあげたいという一方的な考えに気づかされた」「先入観を持って支援をすることは、その方のもてる力を奪ってしまう危険なことと分かった」などの学びが発表されました。自分の価値観や思考の傾向に気づきながら、利用者一人ひとりの個性の大切さや細やかに関係を築いていく中で、介護福祉士としての意義やその気づきが見出されました。また、参加した1・2年生たちは先輩の生の声に一生懸命耳を傾け、「言動や目線、手などの細かい動きを観察したり、それを読み取ることが大切だと分かった」「介護福祉士の役割は、その人らしい介護を行うことであることを学んだ」など、介護の本質を先輩から受け継いでいました。

介護の実践者としての専門性はもちろん、相手の気持ちや行動を察する感性を磨いていけるよう、教育の質をさらに高めていきたいと思えます。



## 百聞は一見に如かず

社会福祉学科 福祉心理コース

教授 山田州宏

今年度も24名の学生さん方が23日間の精神保健福祉援助実習を行います。一人も知り合いがない中での実習ですから、全員が不安や緊張を抱えてのスタートとなります。

しかし、実習が終わって戻ってくると「一回り大きく」なっています。そして国家試験の勉強をし、合格して現場の人になっていきます。

卒業して1年経った卒業生から、メールが届きました。「病院では、先生に教えてもらったことを思い出しながら患者さんと話しています。話すほど疲れるけど、それ以上に得られるものがあるのがあって楽しいし、PSW（精神保健福祉士のこと）になって良かったと思います。先生と出会っていなかったらPSWになろうと思わなかったし、実習にも行かなかったと思うし、大好きな人たち（患者さんたち）に会えていなかったです。」と。

国家資格者を目指すということは、大変なことなのですが、それだけにやり甲斐も、もの凄いなものがあると思えます。



## 「こども福祉コース」における保育実習

社会福祉学科 こども福祉コース

准教授 吉森恵

本学の「こども福祉コース」（平成24年度から名称変更）では、保育所実習とソーシャルワーク実習を一体的に実施されるという特徴があります。今年度は、3年次の8月～9月にかけて児童福祉施設（児童養護施設、乳児院、知的障害児施設等）にて23日間、その後3年次の2月～3月にかけて保育所（園）に10日間の実習を実施します。

児童福祉施設の実習に参加する学生たちは、子ども達とどのように接すればいいか戸惑いながらも、職員の方々から子ども達の支援の方法を見て学び、いろいろな課題に挑戦します。短い期間ではありますが、自立支援計画も作成し、個々の子ども達の支援方法も学びます。また、保育所実習では、子どもの援助の方法、保護者支援等を学び、保育士の仕事の専門性を学びます。

両方の実習を終えた学生たちは、実習の事後指導で、表情も生き生きと変化し、自分の考えをしっかりと伝える事ができるまでに成長します。今後も、学生たちに、より充実した教育ができるように支援していきたいと考えております。

今後共ご支援いただきますよう、宜しくお願いします。



## “ROSE”プログラム

臨床福祉心理学科長

教授 <sup>しば</sup> <sup>はら</sup> <sup>なお</sup> <sup>き</sup>  
柴 原 直 樹

本学には1年次に“ROSE”という自由科目が開講されています。これは、イギリスのオックスフォード大学セント・アンズ・カレッジならびにケンブリッジ大学フィッツウィリアム・カレッジとの協力により行われる、3週間の夏期海外研修プログラムです。毎年、若干のスケジュール変更はあるものの、原則として午前中は教室で英語を勉強し、午後からはオックスフォードあるいはケンブリッジの町に出て学習した英語を楽しく使いながら見聞を広めていきます。また、2泊3日のロンドンへの小旅行もあり、単に英語を勉強するだけでなく、イギリスの文化や伝統に触れる機会を提供します。わずか3週間の研修ではありますが、このROSEプログラムに参加することは、英語によるコミュニケーション能力の向上はもとより、自国の慣習や常識にとらわれない国際的な感覚や思考法を備えた人間としての第一歩を踏み出すきっかけとなります。

昨年は本学から2名の学生がROSEプログラムに参加しました。彼らは、イギリスの名門大学で英語を学び、イギリスの文化や伝統に直接触れ、楽しさとともに多くの感動を覚えて帰国の途についたと言っています。また、日本という国を外から見ることで、日本の文化や伝統に対する理解がより深まったのではないのでしょうか。留学を通して、新たな分野や未知の世界を経験することは、彼らを人間的により大きく成長させる機会を与えます。

私も学生の頃、カリフォルニア大学のサンタクルーズ校における5週間の夏期英語集中プログラムに参加したことがあります。初めて異民族や異文化に接した時のカルチャーショックに始まり、新たな自己の発見に至るまでの感動の数々は今では私の大きな財産となっています。この夏期留学が契機となって、後にアメリカおよびイギリスの大学院で心理学を勉強し、それぞれ修士号、博士号を取得するに至ったのです。本学の学生にとって、国家資格取得のための勉強も大切ですが、“ROSE”プログラムを利用して異文化を直接肌で感じてみるのも価値ある選択だと思います。



## 大阪天王寺キャンパスにおける キャリアサポートセンターの活動について

経営福祉ビジネス学科長

教授 <sup>かせ</sup> <sup>たに</sup> <sup>とも</sup> <sup>お</sup>  
総 谷 智 雄

本キャンパスにおけるキャリアサポートセンターでは、就職を希望する学生たちが、円滑な就職活動を行えるように、低学年時から、就職関連セミナー、個別相談・指導、インターンシップ企業の紹介などを行っております。

日々の地道な積み重ねがあつてこそ、就職活動が実を結ぶということは、周知のとおりです。付け焼き刃の「マニュアル就活」であつてはなりません。初期の段階から学生たちが的確・冷静な自己分析を行い、業界・職種に対する理解を深め、効率的な就職活動を展開できるように、個々の適性に合わせた、きめ細やかな指導を心がけております。それと同時に、在学中の研修および卒業後の就職につながる受け入れ先（企業）の開拓にも努めております。

また、大阪外国人雇用サービスセンターとの連携を強化することにより、同センターが主催するインターンシップに関する情報などを迅速に留学生たちに提供し、的確な支援活動を行える体制を整えております。先日（2013年7月）、某企業のインターンシップの事前研修を受けるために同センターを訪れた本キャンパスの留学生がマスコミ取材を受けるなど、徐々にではありますが、「流れ」ができてつあるという手応えを感じております。国際色豊かな本キャンパスの魅力を周囲にも広く知らしめることのできるような支援活動を、これからも目指していきます。

今年度は、本キャンパスとして初めて卒業生を送り出すこととなります。学生たちを取り巻く社会情勢は、依然として厳しい状況ではありますが、前述した支援体制を、より一層強化・充実させるとともに、ゼミ担当教員とのチームワークをはかることにより、一人でも多くの学生が、希望通りの道に進めるように努力して参る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくごお願い申し上げます。



## 福崎町での親子運動教室の取り組み



健康スポーツコミュニケーション学科

講師 <sup>なか</sup> <sup>い</sup> <sup>あきら</sup>  
中井 聖

本学の所在する兵庫県福崎町は、全児童に占める肥満や肥満傾向の児童の割合が9.7%（平成21年調べ）と、県内で非常に高い状態です。そのため、昨年度から健康福祉課保健センターと共同で、子どもの肥満予防対策として学童期の子どもの健康増進や体力向上を図る食育と運動を一体とした取り組みを行っています。親子で揃って運動体験することでその後の子の体力が高まるという研究報告もあることから、取り組みの一環として親子での運動教室を併せて実施しています。

親子運動教室では、親子で一緒に運動することでスキンシップを図りながら、運動の必要性や運動の楽しさを再認識すること、親子揃って生活習慣を改善して健康的なからだや生活づくりを図ることを目指しています。昨年度は親子35名に参加いただき、親子での運動や体操、コーディネーショントレーニング、水中でのレクリエーション、野外ウォーキングなど、計11回の教室を実施しました。今年度からは体格の如何にかかわらず参加者を募り、13回の教室を実施しています。前年度から継続して参加される方が非常に多く、今年度は69名の親子に参加いただいています。5月には親子でのコーディネーショントレーニング、6月には親子での体づくり運動、7月と8月には親子水泳教室で着衣泳や水中レクリエーション、水上運動会のプログラムを行いました。毎回みなさんの笑顔があふれる楽しい教室となっており、親子のスキンシップや親同士の交流がうまく図れていることを実感しています。

また教室には、健康スポーツコミュニケーション学科の学生が運動・スポーツ指導の実習として参加しています。その中で学生たちは、自らの運動・スポーツ指導の実力を確認し、実際の指導現場で求められるニーズを把握することで、運動・スポーツ指導の実践力向上を図るよう努めています。毎回の教室では真剣になって指導に取り組む学生たちの姿、指導者としてのすばらしい笑顔が見られますので、保護者の方々も一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



## 神戸三宮サテライトキャンパス公開講座開催



社会福祉学科 福祉心理コース

准教授 <sup>えん</sup> <sup>どう</sup> <sup>まさ</sup> <sup>お</sup>  
遠藤 正雄

神戸三宮のサテライトキャンパスでは、地域貢献事業の一環として、公開講座を開催しています。講座では、最先端の研究を踏まえた、生活に活かせる知識と実践方法をお伝えしております。昨年度3月から今年度5月には6回シリーズで「アンチエイジングへのご招待」と題し、正しいアンチエイジングの知見と技法を、各分野の専門家がお話をされました。（下表参照）

開催日	テーマ	講師
3月2日(土)	アンチエイジングと医薬の世界 ～正しいサプリメントの使用方法～	赤瀬朋秀客員教授 (日本経済大学大学院教授)
3月16日(土)	アンチエイジングと漢方医薬 ～抗老化に必要な漢方薬～	石毛敦客員教授 (横浜薬科大学教授)
3月30日(土)	アンチエイジングと総合医療 ～西洋医学と東洋医学の利点をふまえて～	鈴木康仁客員教授 (すずき康仁クリニック院長)
4月13日(土)	アンチエイジングと運動 ～若々しいからだづくり～	當村洋一郎客員准教授 (日本経済大学准教授) 兒玉友助教
4月27日(土)	アンチエイジングとファッション ～おしゃれはノンエイジ～	依田素味客員教授 (日本経済大学教授)
5月11日(土)	アンチエイジングと美しさ ～いつまでも輝いて生きるために～	山西辰雄教授 学部長 遠藤正雄准教授

第1回～3回は、医学・薬学の分野から、アンチエイジングの知見について、各先生方にお話をいただきました。赤瀬朋秀客員教授（第1回）は、アンチエイジングの概念について説明され、安心して健康に過ごすためのサプリメント・健康食品活用法についてファーマコエコノミクスの専門家の立場から講演されました。漢方医薬を専門とする石毛敦客員教授（第2回）は、私たちに馴染み深い葛根湯

を例にとり、アンチエイジングのための漢方医薬の基本的な考え方と使い方についてお話されました。地元神戸市でクリニックをされている鈴木康仁客員教授（第3回）は、アンチエイジングのために役立つ漢方と西洋医学のアプローチや、サプリメントの効用と使用の注意点などを、ユーモアを交えながらご講演されました。第4回～6回は、人間の生活を支える様々な分野の先生方の講演でした。その中ではお話に留まらず

多くの実習も行われました。當村洋一郎客員准教授・兒玉友助教（第4回）は、運動・トレーニングの専門家の立場から、呼吸法と姿勢のチェックの実演をされました。環境被服学の一人者である依田素味教授（第5回）の講演では、自分に似合う/自分が落ち着く色が何であるか、カラーパターンを用いて知ることができました。山西辰雄教授（第6回）は、年齢を超えた心の美しさが反映される行為・肌の抗老化のための手入れ法・兵庫県神崎郡福崎町の特産物であるもち麦の抗老化作用などについてお話を、私（遠藤：第6回）は、人間の記憶の曖昧さ・記憶への加齢の影響・加齢に負けない記憶法について、簡単な記憶テストを交えて説明させていただきました。「アンチエイジングへのご招待」は、若々しく健康的な生活を目指す参加者の皆様から驚嘆と笑顔が溢れる、たいへん明るい公開講座となりました。

また、8月には公開講座第2弾として、小学生・中高年生・中高年の方々を対象に、熱中症を予防しながら楽しく夏を過ごすための効果的な方法をお伝えしました（下表参照）。本学では今後も公開講座を継続して開催する予定です。地元のみならずこの機会をご活用いただきたいと願っております。



開催日	内 容	講 師
8月18日(日)	「夏に鍛えよう!!」 持久力、筋力を総合的に 高める運動の実践	山本浩二 助教
8月22日(木)	「熱中症にならないためには」 熱中症の症状と予防、 応急手当・対策 etc	中井 聖 講師 兒玉 友 助教
8月24日(土) ～25日(日)	「キャンプ in 福崎」 軽いスポーツ、アスレチック、自然観察、 ゲーム、スイミング、竹クラフト、 もちむぎそうめん流し、花火大会	本学スタッフ ボランティア学生

## 平成25年度 前期クラブ活動概要報告



- ウエイトトレーニング部 和歌山ベンチプレス選手権大会 出場  
Jr.57kg級 記録110kg 藤原 のどか（生活医療福祉学科3年生）  
SJ 65kg級 記録95kg 大内 颯斗（社会福祉学科介護福祉コース1年生）
- 硬式野球部 近畿学生野球連盟 春季リーグ戦 3部5位  
ベストナイン賞（センター） 當 大輝（健康スポーツコミュニケーション学科2年生）  
敢闘賞（ショート） 篠原 牧斗（健康スポーツコミュニケーション学科3年生）
- 軟式野球部 神戸新聞社杯争奪兵庫県大学野球選手権大会 出場  
近畿学生軟式野球連盟 春季リーグ戦 2部4位  
ベストナイン賞・ホームラン賞（サード） 井上 裕靖（生活医療福祉学科児童福祉コース3年生）  
ベストナイン賞（セカンド） 森川 慎也（福祉健康スポーツ学科4年生）
- 柔道部 兵庫県ジュニア柔道体重別選手権大会  
78kg 超級 3位 片桐 夢（健康スポーツコミュニケーション学科1年生）  
63kg級 ベスト8 吉田 好絵（健康スポーツコミュニケーション学科1年生）  
52kg級 ベスト8 鎌田 里緒菜（健康スポーツコミュニケーション学科1年生）  
関西女子柔道優勝大会出場 78kg 超級 片桐 夢（健康スポーツコミュニケーション学科1年生）  
兵庫県民大会 出場 吉田 好絵
- 剣道部 近畿ジュニア体重別選手権大会 出場 片桐 夢  
兵庫学生剣道選手権大会 男子 出場  
福崎高校・香寺高校合同稽古会 開催
- 男子サッカー部 関西学生サッカーリーグ（前期）Bブロック 3部7位  
関西学生サッカー選手権大会 出場
- 陸上競技部 関西学生陸上競技選手権大会 2部1500m 11着  
学連競技会 400m 3着 田中 成佳（福祉健康スポーツ学科4年生）
- 吹奏楽部 訪問演奏会（甘地幼稚園夏祭り、柳田國男 民俗学の夕べ、山田文庫納涼祭 他）
- ハッピークローバー（部） お泊まり保育ボランティア（甘地幼稚園、高岡幼稚園）
- 演劇部 新入生歓迎会公演「白雪姫 vs 鏡」  
朗読ボランティア（福崎町サルビア館、季節の華デイサービス）
- 軽音楽部 新入生歓迎 LIVE、SUMMER LIVE 開催  
SOUND SHOCK' 13（関西大学生合同イベント） 出演
- ボランティア活動支援センター ひょうごボランティアプラザ 東日本大震災被災地ボランティア参加  
6月4日（火）～7日（金） 宮城県気仙沼市にて漁具修理および瓦礫撤去  
8月4日（日）～7日（水） 宮城県仙台市にて仙台七夕まつり・仙台七夕花火祭運営補助
- スポーツセクション 地域行事、老人福祉施設、障害者支援施設、病院等でのボランティア活動  
姫友戦 総合3位：男子バスケット部3位、女子バスケット部3位、女子バレー部3位  
陸上部 各種目出場  
主な成績 60m 1着、走り幅跳び 2等 楠 泰寛（健康スポーツコミュニケーション学科2年生）

【新設団体】 ダーツ同好会

# 学友会の活動

## 姫路キャンパス



学友会運営委員会

委員長 <sup>たけなか</sup> 竹中 <sup>れおな</sup> 玲於奈  
(臨床福祉心理学科3年)



### フレッシュマン交流会

4月3日(水)にフレッシュマン交流会を開催しました。

多くの新生に参加していただき、大変大きな盛り上がりを見せました！新生の皆さんは、先生方や在学生との交流を通して、色々なことを意見交換出来たと思います。同じテーブルになった在学生の方と仲良くなる良い機会になったのではないのでしょうか？

各地方から来ている新生とも交流会を通して知り合い、新たな出会いのなか、有意義な交流会にすることができました。

吹奏楽部の演奏、軽音部の発表、ラストのダンスサークルはとても盛り上がり素晴らしかったですね！

入学して半年が経ちますが、フレッシュマン交流会で、出会った仲間、友達と楽しい学生生活を送ってくださいね。

### ～新生からの感想～

入学して間もなく、大学生活に不安がありましたが、在学生や先生方との交流できる機会を頂きありがとうございます☆これから楽しい学生生活を過ごしていきたいと思います。

### 団体紹介



4月2日(火)に新生の歓迎会と学友会運営委員会、セクション、播彩祭、部、サークル、同好会への勧誘を兼ねた団体紹介が行われました。

今年はB棟1階にステージと各ブースを設けました。各団体とも部員募集に熱をいれていたの、チラシを配ったりしていました。ステージ発表では各団体が新生に自分たちの団体のことを知ってもらうために気合いの入ったステージ発表を行っていました。(笑)

その中でも“ダンスサークル”のステージパフォーマンスは会場を大いに盛り上げてくれました。団体の皆さん、団体紹介お疲れさまでした。新入部員は何人入りましたか？新メンバーで楽しい思い出をいっぱい

作って下さい♪今後の活動も楽しみにしています。新団体を作りたい！という人は、学友会運営委員会までご連絡ください。サポートします。皆で大学を盛り上げていきましょう☆

今年、ダーツ同好会が新設しました。これから積極的に活動をしていき盛り上げてほしいと思います♪

### 七 夕

7月3日(水)～8日(月)の3日間にA棟前周辺に笹を設置して、願いが書かれた短冊を飾っていただきました。恋愛系・友情系・実習や就職への意気込み、笑いを狙ったもの、そのほかにも自分への応援メッセージがたくさんありました。

普段は言えない『ありがとう』、『ずっと一緒にいたい』『幸せになりたい！』等たくさんの願い事が叶うことを願っています。



### 献 血

4月18日(木)に献血が行われました。

日本赤十字社・地元ライオンズクラブ・学友会ボランティアスタッフによる献血への協力呼びかけのもと、たくさんの学生、教職員の方が採血をされました。

皆様のご協力は、輸血を必要とする多くの方々の尊い生命を救うこと



に、大いに役立っています。

輸血を必要としている方々はたくさんいます。これからも献血にご協力お願いします。

秋にも献血を行う予定です。皆さん、ご協力よろしくお願い致します。

## かき氷大会

7月2日(火)、11日(木)にボランティア活動支援センター主催のかき氷大会が、A棟1階のフロアで開催されました。昨年まではカルチャーセクションが主催でしたが、今年からはボラセンにバトンタッチです♪

ボラセン初のイベントでみんな来てくれるかなと心配でしたが、始めるとたくさんの人が来てくれました♪

今年のシロップはめろん・いちご・ぶるーはわいの三種類があり、どれも大人気！

今年の人気ナンバーワンは王道いちごでした。

沢山の氷の粒が口の中から喉に通ったときの爽快感はまさに夏を感じられ、本当に美味しかったですね♪ みんなに美味しく涼しいイベントを提供してくれたボランティア活動支援センターの皆さん、ありがとうございました。

来年はどのようなイベントを開催してくれるのか楽しみにしています。



## 大阪天王寺キャンパス



学友会運営委員会  
大阪天王寺キャンパス代表

かすみ なな  
嘉住 奈々

(経営福祉ビジネス学科2年)

(写真右)



7月5日(金)、学友会主催の七夕会を行ないました。

私が学友会に参加してから新入生歓迎会、BBQ親睦会などいろいろな行事を経験してきましたが、学友会主催の七夕会は今回が初めての試みでした。

大阪キャンパスは今年初めて4学年が揃いました。学生達が集まって行事を行なう機会はまだ少ないため、在校生に喜んでもらえるように七夕会を提案しました。

現在学友会に所属しているメンバーは、日本人、中国人、韓国人、モンゴル人、ネパール人と、さまざまな民族や文化を背景に持つ人たちです。今回の行事は彼らと一緒に企画から準備を始めました。何を買うか、どんなことをするか等、意見を出し合いながら真剣に考えました。時にはぶつかり合うこともありましたが、お互いに協力し合いながら当日を迎えることが出来ました。

その日は一日浴衣を着て授業を受けてもいいことになっていたのですが、学内は朝から色とりどりの浴衣を来た学生達で華やかな雰囲気でした。先生方も浴衣で授業されたので、新鮮な気持ちで勉強をすることが出来ました。

また、昼休みの時間を利用し、餅つきイベントをしました。つきたてのお餅を丸めるのは熱くてたいへんな作業でしたが、みんなで温かいお餅とかき氷を食べているととても幸せな気持ちになりました。

今後も学生達が集まって楽しく過ごすことが出来るように、各国の特色を生かした行事などを考えていきたいと思っています。



## 姫友戦



やまもと さやか  
**山本 彩花**  
(臨床福祉心理学科 3年)

「神戸医療福祉大学」「姫路獨協大学」「関西福祉大学」「兵庫県立大学」の四大学合同の白鷺杯争奪姫友戦が6月22日(土)、23日(日)に開催されました。

今年の姫友戦は姫路獨協大学が主催校となり、例年通り会議などを通し、調節、協力することで、ミスもなく試合の進みもスムーズでした。しかし、初日は連日の雨によりソフトテニスが、中止となってしまい非常に残念でした。実施された種目はフェアプレー精神にのっとり、審判なども四大学協力しあうことでスタッフ・選手共に親睦を深めることができました。

本学の結果は女子バスケット部3位、男子バスケット部3位、女子バレー部3位と残念な結果ではありましたがどの部も人数が少ない中、1人1人、またチームでの能力を出しきることで、とても清々しい試合になったと思います。来年に向け各団体と共に神戸医療福祉大学を盛り上げていきたいと思いました。



## 学園祭のお知らせ



播彩祭実行委員会  
まの ことみ  
委員長 **眞野 琴子**  
(生活医療福祉学科 2年)

今年は10月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり、「こうふくフェスタ (Festa)」『第14回播彩祭～HERO～』を開催致します。当日、皆さんにとって思い出の1ページになりますように実行委員会20人全員が一丸となり日々精進しております。

さて、今回のサブタイトルは『HERO』です。このサブタイトルには、『播彩祭の当日2日間、1人ひとりが主役になれるように』という想いを込めています。来ていただいた来場者の方、全学生、企業・業者の方々といった播彩祭に携わって下さった皆さんが主役となり思い出に残る時間を創ることが出来たら幸いです。神戸医療福祉大学として新たなスタートをした大学の最大イベントとして昨年以上のものにしていきたいと思っておりますので是非足をお運び下さい。

最後になりましたが、後援会の皆様には多大なるご支援・ご協力をいただき誠に感謝申し上げます。播彩祭実行委員会一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



## 後期教育懇談会を開催します

教育内容やご子女の学修状況について保護者の方へ大学側からご説明をさせていただきます。是非この機会に、成績、実習、資格、就職についてご理解を深めてください。

日時：平成25年10月19日(土) 10:00～  
場所：姫路キャンパス

内容：教育内容の取組み説明、個別懇談

※参加申込み等詳細は、同封の案内文にてご確認ください。



## 学 年 暦 (25年度後期)

平成25年	9月24日(火)～9月26日(木)	再試験期間
	9月27日(金)	後期授業開始
	10月20日(日)	学園創立者記念日
	10月26日(土)・10月27日(日)	学園祭
平成26年	1月6日(月)	後期授業再開
	1月28日(火)～2月7日(金)	後期試験(追試験含む)
	2月12日(水)	卒業時共通試験(介護福祉士)
	2月13日(木)	成績発表(成績配布)
	2月17日(月)～2月19日(水)	再試験期間
	2月20日(木)～3月5日(水)	保育所実習
	2月20日(木)～3月11日(火)	介護実習I
	3月13日(木)	学位記授与式(予定)

※日程は変更されることがありますので掲示に注意して下さい。

## 編集後記

4月より新たに校名が神戸医療福祉大学へと変わりました。そのためでしょうか、今年は例年にも増して新たな活動の息吹きを感じ取ることができます。その一端でもお届けできていれば幸いです。後期の会報にもぜひご期待ください。(石井)

発行日：2013年9月

発行：神戸医療福祉大学後援会

事務局 教学課 〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡 1966-5

TEL (0790) 22-5125 FAX (0790) 22-6941

E-mail:gakuseibu@sw.kinwu.ac.jp